

秋の森チャレンジデー

趣旨：豊かな森の中で、子どもたちが森の中で散策をしたり、森のことを学んだりすることとおして、自然への興味関心や体力を高める機会とする。

期日：令和2年10月18日（日）

会場：帯広の森・はぐく一む（北海道帯広市南町南9線49番地1）

人数：480名（主催者発表）

【内容】

主に幼児や低学年の児童を対象にした自然体験型のイベントであることを踏まえ、自然の中での運動の楽しさを感じてもらえるように、「忍者」をテーマにした運動にチャレンジするコーナーを4か所に設営した。各コーナーで集めたスタンプを押したカードと引き換えに、「体験の風をおこそう」の文字が入った腕輪タイプのラバーバンドをプレゼントした。

帯広の森・はぐく一む

秋の森 チャレンジデー

毎年行っている「はぐく一む秋まつり」とはやり方や内容を変えて、全て野外で行う、自主体験型のイベントです。



くわしくは
うら面を
見てね

森の中にある、さまざまな体験コーナーに自分からチャレンジしてみよう！

2020年10月18日（日）

10:00～15:00（昼休み12:00～13:00）
※昼休み中、一部の体験は休止します

主催：帯広の森・はぐく一む、「体験の里」日高から体験の風をおこそう運動実行委員会

共催：帯広市

問い合わせ：〒080-0856 帯広市南町南9線49-1 ☎0155-66-6200 E:info@hagaku-mu.net



～各コーナーの内容～

- 忍法「へんげばしり」（ハードル走）
- 忍法「よじのぼり」（木登り）
- 忍法「つなわり」（スラックライン）
- 忍法「しゅりけん」（円盤投げ）

【成果】

- 忍者の格好をした職員や学生ボランティアに教わりながら、各コーナーに設定されたテーマの運動を、どの参加者も大変意欲的に行っていた。今後の幼保向け出前事業などにも活用できる企画となった。
- 受付では、「体験の風をおこそう」や「早寝早起き朝ごはん」など、保護者向けに啓発資料を配付し、実行委員会の活動について広報することができた。
- 十勝教育局社会教育指導班に運営協力をいただき、今後の事業に向けた連携実績を挙げる事ができた。

【課題】

- 当初、コーナーの設置場所については、森の中を中心に展開する予定だったが、活動内容の決定に時間を要し、施設周辺での展開になった。今後、同様の活動を提供する場合は、場所選びを早めたい。
- 今回、運営協力を法人ボランティア2名が参加したが、今後はボランティアの参加者も増やしたい。